

## 第2学年国語科学習指導案

日 時 平成29年11月8日(水) 6校時  
児 童 男子 名 女子 名 計 名  
授業者

### 1 単元名 「説明のしかたに気をつけて読もう」

教材名 「しかけカードの作り方」

### 2 言語活動とその特徴

本単元では、並行読書を進めながら、事物の仕組みなどを説明した文章を読み、分かったことや考えたことを述べる言語活動を行う。児童は、何かの作り方や使い方、遊び方などが書かれてある図書資料の中から興味をもった資料を選んで読み、分かりやすい説明のしかたを見つける。分かりやすい説明とは、教科書の教材文で学習した「順序を表す言葉を使う」「数字の活用」「絵や写真と文章を照応させること」「注意することを書く」「組み立ての工夫」などを表す。ここでは、児童の分かりやすさという着目点で重要だと思う語句や文、構成などを考えて選び出す活動を単元のまとめとして位置づける。

### 3 単元について

#### (1) 児童について

児童は、これまでの学習において、写真と文を対応させたり、時間的順序や事柄の順序に着目したりしながら説明的な文章を読む活動を行ってきた。この活動を通して、児童は時間的な順序に注意して自分の知識や経験と結びつけながら読むことができるようになってきている。本教材では、初めて「手順を読む」経験をする。他教科の学習においても、物の作り方や使い方等の資料を叙述に沿って読み取り、作業することは難しい現状である。一方で、図鑑や科学的な読み物などに興味をもって読もうとする児童は多く、その多くは写真や絵など視覚的な要素から情報を得ていることが分かる。したがって、活動に際しては、文章の叙述に沿って一語一句の意味の大切さにも気づかせながら丁寧に読ませていく必要がある。

#### (2) 単元構想及び教材について

第1次では、教科書にあるしかけカードの実物を見せて作り方を予想させるなどして関心を高めながら、本教材と出合わせる。そして、第2次では、実際にしかけカードを作りながら読み進めることで、児童一人一人が楽しく読み取りに参加できると考える。さらに、写真を効果的に示しているので、写真と文章とを結びつけて丁寧に読むことによって理解できることにも気づかせていく教材である。その後、何度も文章を読み、確かめながら「分かりやすい説明のしかた」を児童に見つけさせて整理していく。そして、第3次では、自分の選んだ本から分かりやすい説明のしかたを見いだす活動を位置づけた。教科書の読みを並行読書に活かすという構成にして、実生活に活かすことや次単元「おもちゃを作ろう」へつなぐことも考慮した。

### (3) 指導について

実際に作業しながら読み取る活動の際には、よく読まないで失敗してしまう例を示しながら、順序を表す言葉や数字、用語の意味、写真のよさなどに気づかせていきたい。児童が迷いなく活動を進められるように明確に指示を出すと同時に、時には揺さぶったり切り返したりして発問するようにする。また、友達と対話形式で話し合いながら作業したり、分かりやすさを話し合ったり、グループでの伝え合いを行うことを通して、活発な言語活動を促して考えを共有させる。そして、児童の発言をつながけながら価値づけていき、学習してよかったことや分かったことを児童が実感できるように展開していきたい。

## 4 単元の指導目標

- しかけカードの作り方に興味をもち、どのように書かれているかを整理しようとしている。  
[国語への関心・意欲・態度]
- ◎ 順序を考えて教材文を読み、説明のしかたについて理解することができる。  
[読むことイ]
- 言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づくことができる。  
[伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(ウ)]

## 5 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・しかけカードの作り方に興味をもち、どのように書かれているかを整理しようとする。	・手順や事柄の順序などに気づいて読んでいる。(イ) ・写真と文を照応させながら内容の大体を読んでいる。(イ)	・言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づいている。(イ(ウ))

## 7 本時の指導 (2/6)

### (1) 本時の目標

しかけカードの作り方を読み、作り方の手順を確かめながら、しかけカードを作ることができる。  
(読むことイ)

### (2) 本時の指導にあたって

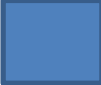




- 視点1 「発問・指示」…よく読まないで失敗してしまう例を示しながら、順序を表す言葉や数字、用語の意味、写真に着目させるようにする。児童が迷いなく学習活動を進められるように明確に指示を出すと同時に、時には揺さぶったり切り返したりして発問するようにする。
- 視点2 「振り返り」…作り方を読みながら作ってみて、思ったことや考えたことを発表させる。よく読んで作ることの大切さやよさについて振り返らせる。

### (3) 本時の展開

時間	主な学習活動	主な発問 (主◎, 補助○) 指示 (・)	指導上の留意点(・) 評価(◇)
5	1 前時の学習内容の確認をする。 2 本時の課題を把握する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元のめあてや学習計画を確認しましょう。</li> <li>今日から「しかけカードの作り方」を読みながらしかけカードを作っていきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>掲示物を見て確かめる。</li> <li>教師が作った実物を提示し、意欲を喚起する。</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">                     「しかけカードの作り方」を読みながらじゅんじょよくカードを作ろう。                 </div>			
5	3 作り方の見通しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○(写真を並べ替えて見せ) これらはカードを作っている途中の写真です。それぞれ何をしているところでしょう。</li> <li>○どのような順序で作ったらいいでしょうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書は開かせず、写真から作業の様子を言葉で表現させる。児童の発言と写真を対応させていく。</li> <li>写真を正しい順序に並べ替える。</li> </ul>
10	4 教師の範読を聞きながら、順序を話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○作り方の説明を順番に読みます。どの写真のことを話したのでしょうか。また、それはどの言葉から分かりましたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>順序を表す言葉を強調しながら、一段落毎に範読する。</li> <li>児童の発言をもとに、切り込み、押し上げるなどの用語の意味や長さについてはその都度写真や実物で確かめながら進める。</li> </ul>
10	5 友達とペアになり、作り方を説明し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアで作り方を説明し合ひましょう。説明のしかたは、1段落目は先生と○○さんで行います。同じようにやりましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師と代表の児童で対話のモデルを示す。</li> <li>教師が間違っただけで答えたり、失敗例を見せたりして、叙述に即した読み方の大切さに気づかせる。</li> </ul>

	<p><b>【交流】</b>  ねらい…質問する児童には順序を表す言葉に気をつけさせる。答える児童には、順序に合わせて作り方を読ませ、写真を説明している文章を見つけさせることをねらいとする。</p> <p>形態…ペア(対話形式)</p> <p>進め方…段落毎に質問する方と答える方を交代して行う。  C1:まず(順序を表す言葉),何をしますか。  C2:大きい画用紙で、カードを作ります。……。(答える)  C1:写真は何をしているところですか。  C2:切り込みを2本入れているところです。</p> <p>広げ方…よい気づきをしているグループ(ペア)を取り上げて全体に広める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対話のしかたを黒板に貼り、活用させる。</li> </ul> <p>◇ [読イ]「しかけカードの作り方」の順序を表す言葉、数字や用語の意味に気をつけ、写真と対応させながら読み、カードを作っている。</p> <p><b>【配慮の必要な児童への支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作ることが難しい児童には、そばに行って助言しながら一緒に作る。</li> </ul>
7	6 作り方を読みながらしかけカードを作る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>作り方を自分で読みながら、カードを作っていきます。今日は3段落まで進めましょう。</li> <li>ペアで相談してもいいです。</li> </ul>
5	7 全体で交流する。	◎作りながら、気をつけて読んだところ、何度も繰り返し読んだところはどこですか。線を引きましょう。
3	8 本時を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>読みながら作ってみて、思ったことや考えたこと分かったことなどを発表しましょう。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>何度も読んだところは、カードを作るうえで大切な箇所であることをおさえる。</li> <li>数名に発表させる。</li> </ul>

## 8 板書計画

<p>㊸(教科書に引いたサイドラインをもってまとめとする。)</p>	    	<p>写真</p>	<p>(文章のコピー)</p>	<p>どんなじゅんばんでしょう。</p>	<p>せつめのしかたに気をつけて読もう  しかけカードの作り方</p>	<p>㊸「しかけカードの作り方」を読みながら、じゅんじょよくカードを作ろう。</p>
------------------------------------	--	-----------	-----------------	----------------------	---	--

6 単元の指導計画（全6時間扱い）

【指導目標】 ◎順序を考えて教材文を読み、説明のしかたについて理解することができる。[読(1)イ] ○言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気づくことができる。[伝国(1)イ(ウ)]	展開	第1次 単元の導入		第2次 単元の展開		第3次 単元のまとめ
		1	2・3 本時	4	5	6
	目標 [指導事項]	「分かりやすい説明のしかたを見つけよう」という学習課題を理解し、学習の見通しをもととしている。 [関心・意欲・態度]	「しかけカードの作り方」を読み、作り方の手順を確かめながら、しかけカードを作ることができる。 [読(1)イ]	しかけカードを作った活動を振り返り、<作り方>の中で使われている分かりやすい説明の仕方をまとめることができる。 [伝国(1)イ(ウ)]	「しかけカードの作り方」全文を読んで、「分かりやすいせつめいのしかた」をまとめることができる。 [読(1)イ]	「分かりやすいせつめい」を他の本から見つけ、それぞれのよさに気づくことができる。 [読(1)イ]
	学習課題	しかけカードの作り方の学習の進め方をたしかめよう。	「しかけカードの作り方」を読みながら、じゅんじょよくカードを作ろう。	「分かりやすいせつめいのしかた」を見つけよう。	「しかけカードの作り方」にかかわっている、「分かりやすいせつめいのしかた」を見つけよう。	分かりやすいせつめいのしかたをほかの本から見つけよう。
【指導方法の工夫】 【焦点化】 ○手順や事柄の順序などに着目させて読ませる。 ○写真と文を照応させながら読ませる。 【視覚化】 ○写真やしかけカードの実物などを適宜活用し、分かりやすい説明の仕方の仕方に気づかせる。 【交流】 ○ペアで対話形式にして作り方を説明させることを通して、分かりやすさについての思考を促す。 ○友達の説明を聞いて、自分の考えと比較させながら、より分かりやすい説明に仕方に気づかせる。		1 しかけカードの作り方でどのような学習をしていくか、確かめましょう。 2 課題を確認しましょう。 3 しかけカードはどのようにして作ったと思いますか。ペアで話し合ってみましょう。	1 しかけカードの作り方を読みながらしかけカードを作ります。 2 課題を確認しましょう。 3 写真を並べ替えました。それぞれ何をしているところでしょう。 4 どのような順序で作ったらいいでしょうか。 5 作り方の説明を順番に読みます。どの写真のことを話したのでしょうか。それはどの言葉から分かりますか。 6 <作り方>の部分を読んで、ペアで説明し合ひましょう。	1 しかけカードを作りながら思ったり考えたりしたことを出し合っ、分かりやすい説明のしかたを見つけていきましょう。 2 課題を確認しましょう。 3 しかけカードを作ったときに、気をつけたり、何度も読んだりしたところはどこですか。 4 友達と話し合ひましょう。	1 前の時間の<作り方>の部分で見つけた分かりやすい説明のしかたを確かめましょう。 2 今日は文章全体を読んで、分かりやすい説明のしかたを見つけていきましょう。 3 課題を確認しましょう。 4 初めの部分、<ざいりょうとどうぐ><つかいかた>にはそれぞれどのようなことが書かれていますか。 5 それぞれのよいところを話し合ひましょう。	1 「しかけカードの作り方」文章全体の分かりやすい説明のしかたを確かめましょう。 2 今日はほかの本から分かりやすい説明のしかたを見つけていきましょう。 3 課題を確認しましょう。 4 自分が選んだ本の中で、分かりやすい説明の言葉や文、組み立てなどを見つけてみましょう。 5 ペアで話し合ひましょう。 6 グループで伝え合ひましょう。
	交流のねらい	教科書の写真にあるいろいろなしかけカードについて、その作り方を想像させ、意欲をもたせる。 <ペア→全体>	対話形式で行う。質問する児童には順序を表す言葉に気をつけさせる。答える児童には、順序に合わせて作り方を読み、写真と文章を照応させながら読ませることをねらいとする。 せつめいのしかた C1: まず、何をしますか。 C2: (答える) C1: 写真は何をしているところですか。 C1: (答える) ..... <ペア>	友達が作業をするときにどこを読んだのかを確かめ、正しく作るための文が共通していることを認識させる。 <グループ>	初めの部分、<ざいりょうとどうぐ><つかいかた>のそれぞれの役割とよさがあることに気づかせる。友達の考えを聞いて考えを深める。 <グループ→全体>	同じ本を選んだ友達とペアになり、分かりやすい言葉や文、構成などを確認させる。共通していることを見つたり、補ったりして確かめる。 <ペア> 4人のグループになり、それぞれのペアの話し合ひで見つけた分かりやすさを伝え合ひ、よさを知る。 <グループ>
【単元を貫く言語活動】 何かの作り方や使い方、遊び方などについて説明した本や文章を読む。読み取ったことやわかったこと、考えたことを話す。 *参考 [読 言語活動例 (2)ウ]		4 説明している文章を読みながらしかけカードを作って、分かりやすい説明のしかたについて考えてみましょう。 5 単元のめあてを確かめましょう。 分かりやすいせつめいのしかたをみつけよう。 6 文章を読んで書き方を確かめていきましょう。	7 作り方を自分で読みながらしかけカードを作ります。 8 気をつけて読んだところに線を引きましょう。 9 読みながら作ってみて、思ったことや考えたこと分かったことなどを発表しましょう。	5 分かりやすい説明だと思ったところを発表して下さい。 6 順序を表す言葉にはどんなものがありましたか。 7 これまでに学習した分かりやすい説明のしかたについてノートにまとめましょう。 ・順序を表す言葉を使う。 ・写真と文を合わせて書く。 ・数字を使う。 ・作業をするときの注意の文を書く。	6 「たいせつ」を読みましょう。 7 話し合ったことや「たいせつ」に書いてあったことをもとに、分かりやすい説明のしかたについてまとめましょう。  組み立て ①初めの部分 ②<ざいりょうとどうぐ> ③<作り方> ④<つかいかた>	7 分かりやすい説明だと思ったところを発表しましょう。 8 次の時間からは、学習したことを生かして、おもちゃの作り方を考えて書いていきましょう。
【図書資料】 ・『てじなでだましっこ』(福音館 佐伯俊男) ・『おりがみとあきばこで どうぶつえん』(毎日新聞社いまいみさ)						